

# 令和元年度 北信越地区審判講習会 報告書

北支部 報告者 加藤 祐介  
八木 恒司

1. 主催 : 北信越地区高等学校野球連盟
2. 主管 : 石川県高等学校野球連盟
3. 日時 : 令和元年5月18日(土) 12:30~21:00  
19日(日) 8:20~13:30
4. 場所 : 石川県立野球場 (金沢市北塚町東220 TEL:076-268-4264)
5. 講師 : (財)日本高等学校野球連盟派遣講師 4名  
 審判規則委員会副委員長 古川 泰史 講師  
 審判委員 小林 憲央 講師  
 審判委員 大槻 康彦 講師  
 審判委員 美野 正則 講師  
  
UCS講師 1名  
 石川県 山上 剛史 講師
6. 補助講師 : 平成31年度全国審判講習会に参加した各県審判員 1名 計5名  
 古屋 茂 氏(長野県)・若山 拓矢 氏(新潟県)・澤 徹 氏(富山県)  
 石津 勇二 氏(福井県)・寺井 文裕 氏(石川県)
7. 受講者 : 長野・新潟・富山・福井 各県4名、石川 16名 計32名  
 新潟県北支部 加藤 祐介・八木 恒司  
 南支部 石坂 正樹・横川 卓史
8. モデル校 : 18日(土) 星稜高等学校野球部  
 19日(日) 金沢学院高等学校野球部

## 9. 日程表 :

第1日目(5月18日)				第2日目(5月19日)			
	開始	終了	時間	開始	終了	時間	内容
1	12:00	12:30	30	8:20	8:30	10	集合/点呼、各自ウォーミングアップ
2	12:30	12:40	10	8:30	8:50	20	開講式・講師紹介・諸注意
3	12:40	13:00	20				発声・セスター
4	13:00	13:10	10	8:50	9:30	40	ストライクゾーン確認と球審の基本的な構え
5	13:10	13:50	40	9:30	9:50	20	打球判定練習 (10分×4)
6	13:50	14:00	10	9:50	10:10	20	フォースプレイの説明
7	14:00	14:30	30	10:10	10:20	10	フォースプレイの判定練習(無走者と走者1塁)(15分×2)
8	14:30	14:40	10	10:20	10:40	20	タグプレイの説明
9	14:40	15:10	30	10:40	11:50	70	タグプレイ判定の練習(2盗・3盗) (15分×2)
10	15:10	15:20	10	11:50	12:50	60	休憩
11	15:20	15:50	30	12:50	12:55	5	ランダウンプレイの説明&判定練習(三本間・一二塁間) (7分×4交代) ※例 1班:1塁→2塁→3塁→球審
12	15:50	17:00	70	12:55	13:00	5	幼ユースの基本練習(走者なし、R1塁)15分×4本セッション
13	17:00	17:10	10				・ケルダウン ・協力チームへの挨拶
14	17:10	18:10	60				座学
宿舎へ移動							
15	19:15						夕食/懇談会

## 10. 講習内容 :

### スローガン 『見て、聞いて、考える！』

#### ①「他の参加者」のプレイをよく見る

- ・ Be in position to see every play 「あらゆるプレイについて最もよい位置をとれ」  
⇒何故その位置に入ったのだろうか？ ⇒自分ならここに入ったかも。

#### ②「聞く耳」を常に

- ・ 全ての事を自分自身に置き換えて聞き耳を最大限に！
- ・ 問題意識を持って臨み頭で理解しないと動けない。答えは一つとは限らない。
- ・ 抽斗は多ければ多い方があらゆるプレイに対応出来る。 ※抽斗（ひきだし）
- ・ 抽斗を増やすには“？”を放置しないこと、納得するまで聞いて考える。

原点に立ち返り初心忘れるべからず。

### “高校野球のアンパイアとして何故講習会が必要か？”

#### ○発声・ジェスチャー 【小林講師】

[1日目]

- ・ マスクを着けたまま発声を行う。⇒プレイはプレートを目掛けて指を指す。
  - ・ 球場全体に声が聞こえなければならない！
  - ・ 声が大きくなるとジェスチャーも大きくなる。
  - ・ タイム・ファウルボールは、肘を真っ直ぐに伸ばして上げる。指は広げない。
  - ・ 外野飛球のアウトは、球場全体から見ても分かるように肘を伸ばして上げる。
- ※Go Stop Callは行わずにスタンディングにての発声・ジェスチャー講習でした。

#### ○ストライクゾーンの確認と球審の基本的な構え 【大槻講師】

- ・ スロットポジションは打者側のベース縁に体の中心を置き投手のリリースポイントを見つける。
- ・ スロットスタンスに入る足はどちらからでも良い。また足はスクエアでもOK！
- ・ 捕手の頭より自分のアゴは下がらない。なぜ？⇒**外角低めを見るため！**
- ・ 外角低めを見るためにはどうすればよいか？⇒**トラッキングをおこなう。**
- ・ 球審の構えのタイミングはオンザラバーでスタンスを決める→ゲットセットは投手が動作を始めたら（足が着く時では遅い）自然に沈む。

#### ◎【古川講師】より補足

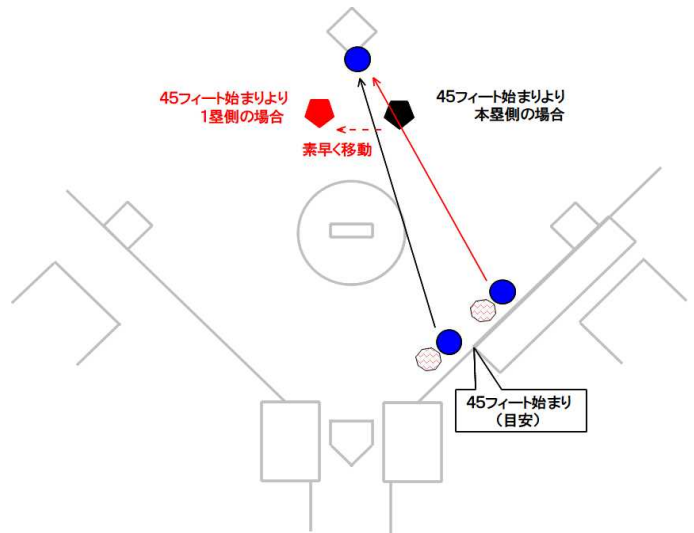
- ・ リラックするとき次ぎの動作を考える！
- ・ ベース上を見るとき、目が真ん中にあると集中できる。上目や下目ではダメ！
- ・ 審判員にはまたチャンスがあるが、3年生の夏は1度しかない。常に選手が最後だと思え！

#### ○フォースプレイの判定練習 1塁 【山上講師】

- ・ スタートポジションは野手の2~3m後方でベースから5m以上は近づかない。
- ・ 判定する時はベースから5~6m離れた位置が良い。
- ・ 打球が打たれたら野手と90度の位置に素早く移動して”止まり“野手の送球を確認してハンズオンニーを行う。
- ・ ベースに正対して必ず3点（①野手の足・②走者の足・③野手の捕球）を見る。
- ・ ブラインドになる場合は顔の角度で見える。なぜ？⇒**野手の動きとアジャストする意識**
- ・ 1塁よりの2塁ゴロは2塁手の動きを見て、1塁線とコーチボックスの中間位置でジャッジする。

### ○フォースプレイ判定の練習 2塁 【山上講師】

- ・1塁線の送りバント時45フィートの始まりの位置まで2塁側、それより1塁側に行く場合は素早くショート側へ移動する。
- ・必ずプレイを待ち受ける”止まる“
- ・2塁でのフォースプレイでは次のプレイ（インターフェア等）があるため1塁には慌てて振り向かず塁上を注視する。



### ○タグプレイ判定の練習 2塁 【山上講師】

- ・立ち位置は2塁側、ショート側のどちらでも良いが以下の理由で2塁側をおすすめする。

#### □ 2塁側

- ・基本4歩で向かい距離を詰めるが、捕手の送球精度が低いいため2塁側へそれる事が多い。（送球に当たるリスクがあるため2歩になってしまう。）
- ・角度をとればプレイが起こる2塁ベース縁を見ることが出来る。
- ・スワイプタグ時の野手とランナーの間に入ってプレイを見れる。

#### ■ ショート側

- ・距離を詰めずプレイが起こるベースの縁が良く見える。
- ・スワイプタグ時は野手がブラインドになりプレイ見えなくなる。

### ○タグプレイ判定の練習 3塁 【大槻講師】

- ・スタートポジションは野手の2~3m後方でベースから5m以上は近づかない。
- ・盗塁時バッターが打たないタイミングでインフィールドへ3歩で入る。  
バッターの打たないタイミングとは？⇒キャッチャーが捕球した時！
- ・高校野球は選手に伝えるため、ジャッジを残す。

#### ◎【古川講師】より補足

- ・アウト・セーフを見るのでは無くどっちが早いかな？を見る。  
そして考える！ その間がとても大切である。

### ○ランダウンプレイ判定の練習 【大槻講師】

- ・ランダウンプレイは動きながら見ても良い、特にタグを見に行くこと！
- ・難しいのが塁間の中央付近のプレイである。講習会では躊躇せず積極的にジャッジする。
- ・3塁審はランダウンが始まったら、コーチスボックス本塁側まで行きフェアラインとコーチスボックスの中間位置に素早く移動して状況を見守る。
- ・ルール改正により走者に対し、触球行為があったと審判員が判断した場合はアウトとなるが過大判断はしない様に注意してほしい。  
例)ランナー1・3塁で重走を企て、タイムプレイを狙う場合に1塁走者がライト側へ逃げるケースなどに適用。
- ・甲子園では同一塁上にランナーが居た場合、” You “アウトとは言わず” 君 “アウトと言いつけ  
分かりやすい処置をとる。

○今年は2年に一度の「高校野球審判のてびき」改訂年で記念大会の前後に発刊された  
 各々巻頭記載の「不易流行」と「Next One」には、今後の大切な方向性が記されている。  
 様々な事を考えて熟読してください。

ふえきりゅうこう  
**不易流行**

松尾芭蕉、俳諧の理念。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、  
 新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。

ネクストワン  
**Next One**

喜劇王チャーリーチャップリンの名言。現状に決して満足せず、自らを律し、  
 次回はもっと良いものにしていきたいという謙虚で前向きな姿勢。

◎高校野球審判手引きの確認

- ①臨時代走 : 臨時代走は使う「選手の身体を第一に考える」チームにもお伝えする。
- ②伝令 : タイムの制限はあるが、伝令の人数に制限はないので各塁に伝令を出しても良い。  
 基本選手をベンチへは呼べないが9人のチームは呼んでも良い。
- ③捕手の位置: 今はルール上、ベースを跨いで良いが、前に立たせる指導を行う。
- ④投手の禁止事項: サインを見てから身体を起こして2塁のサインを見る事は高野連ではOKだが、今後は指導を行って行く。
- ⑤反則投球 : ノーランナー時のセットポジションでの完全静止は指導を行う。
- ⑥タイムプレイ : タイムプレイ時のザッツランスコアは、今後イニング点数を示すかも？（検討中）
- ⑦第3ストライク : 完全捕球ではない時に両手を広げるジェスチャーは今後やっていく方向である。

◎メカニックスの確認

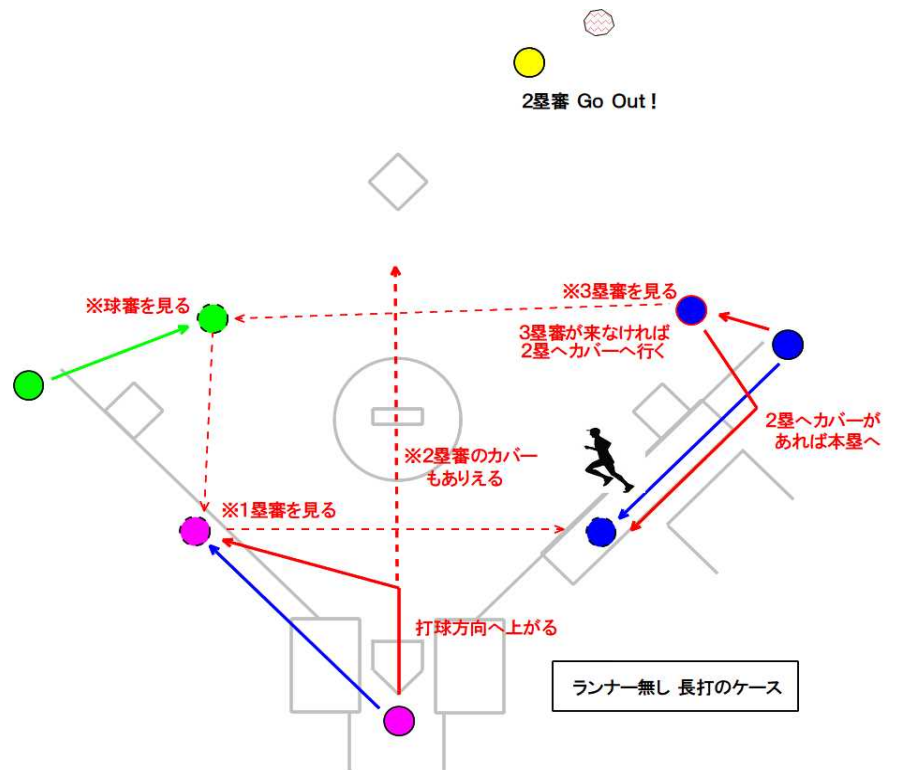
- 1) 1塁審の → は間違っていない  
 しかし1塁審は3塁審のカバーを ● でみてから本塁へ行く。
- 2) 3塁審がカバーを忘れても1塁審が2塁へのカバーに行く。
- 3) 球審はまず打球方向へ進み3塁審の2塁カバーを確認する。
- 4) その後3塁カバーへ行く際に ● で1塁審の本塁カバーを確認する。

【古川講師】より

『失敗は誰でもする！

それをカバーできない方が悪い。

カバーできれば失敗でなくなる。』



## ◎質疑応答

【質問者：八木】

Q. 春のセンバツ大会で球審の方が、キャッチャーに対して声がけをされている様に見受けられました。お伝えできる範囲で教えていただきたい。

【回答者：大槻講師】

A. 春の大会注意事項として、捕手はホームプレートの直後に位置しなければならない。との申し合わせ事項があり、捕手には明らかにボックスから出る行為を注意しました。外角の投球を要求する際、どうしても足が出てしまうが、キャッチャーに対して『身体を出すなよ!』と伝えていました。

## ◎【古川講師】より補足

外角でキャッチャーボックスから出ずに身体の真ん中に来たボールはストライクだと伝えている。

### ○発声・ジェスチャー 【美野講師】

[2日目]

- ・各塁での発声・ジェスチャーを確認、班ごとに球審・塁審の動きを確認して発声練習。
- ・高校野球ではリードステップはせずに、とにかく打球に近づく。
- ・クルーに失敗をさせないため、メカニクスが崩れた時はカバーする。
- ・恥をかかせる方が悪い！ カバーができれば、問題ないプレイとなる。

### ○打球判定練習 球審/1塁・球審/3塁 【大槻講師】

[1塁・3塁]

- ・ライン際の飛球はラインに沿って進み、必ず“止まって、判定をする。
- ・ファウルフェンス際への打球は選手の動きに注意してやり過ごし、角度をとってフェンスへ近づき“止まって、見る。
- ・内野手後方ライン際の打球は、打球の性質にもよるが近づくよりもラインに沿って進み角度をとって判定する。
- ・大きな飛球は打球方向へ追って、“止まる、捕球していれば更にボールを見に行き大きなジャッジで観衆にお知らせする。
- ・ライン際の打球を判定しジャッジを残したあと、振り返ってから記録にフェアorファウルを伝える。

[球審]

- ・甲子園ではライン際の打球は、ベースを含んで塁審が担当する。
- ・ヒザ下の打球は球審がジャッジする。なぜ？⇒塁審では捕球が見にくいいため！

## ○本塁周辺のプレイ

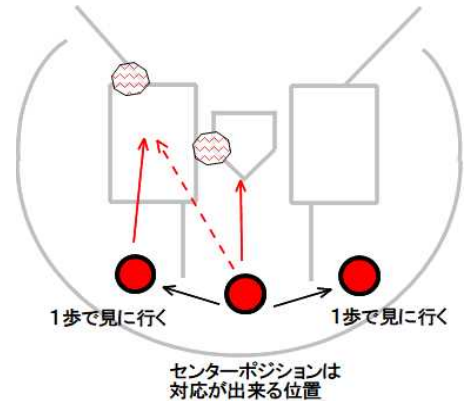
【美野講師】

- ・本塁でのプレイを3箇所を検証しながら確認をした。
- ・高校野球では捕手はホームベースを跨いで良い（現時点）ため1塁側は捕手でブラインドとなる。 ※ベース前に位置する様に指導を行う。
- ・3塁側は走者が手でホームベースを触る際に走者の身体がブラインドとなる。
- ・送球が逸れた場合は1歩で見に行き捕手と走者の間に入りタグを見に行く。
- ・センターポジションが総合的に対応がしやすい位置、スライディングがあるのでベースには近づき過ぎない。
- ・ライン際を判定したら2歩でセンターポジションへ戻る。

## ◎【古川講師】より補足

### ◇各塁と本塁との違い

- ・各塁はベースの縁でプレイが起こる。  
なぜ？⇒止まる必要があるため！
  - ・本塁は駆け抜けるためプレイが消える。  
なぜ？⇒プレイが一瞬であるため！
- そのために最もよい位置をとる必要がある！！**



## ○メカニクスの変更について

【大槻講師】

- ・メカニクスの変更点は2点

### ①2塁ランナーの3塁触塁

今回から2塁ランナーの3塁触塁は2塁審が見ることになった。

### ②満塁で2塁審が外に位置して、打球を追った場合の2塁ランナーのタグアップ

今回から2塁ランナーのタグアップは1塁審が見ることになった。

※1塁ランナーのタグアップは球審が見る。

## ○メカニクスの総合練習

【各講師全員】

- ・1塁審の場合、リミングとピポットターンのラインを球場で確認しておくこと。
- ・インフィールドフライは自分が抱えているランナーに伝えること！  
気がつかずランナーが出たらそれは塁審が悪い！ "インフィールドに入る、"  
※クルーのうち2人が打球を追った場合、残りの2人が中間（内側で見る）でプレイを待ち受ける。

## ○まとめ

この度は、北信越講習会に参加させていただきありがとうございました。

2日間とも天候に恵まれ、最高のグランドコンディションで受講することができました。

また、日常甲子園でレギュラー審判委員として活躍されている講師をはじめ、甲子園での全国審判講習会を受けられた各県の補助講師の方々より、実践に役立つご指導を直接頂けたことは最高のレベルアップとなりました。

さらに北信越地区の審判委員との意見交換、交流ができとても良い刺激となりました。

今回の講習会で学んだことを活かし、多くの方から信頼される審判委員を目指します。

最後にこの様な機会を与您ていただきました新潟県高等学校野球連盟をはじめ、審判委員の皆様へ感謝を申し上げ講習会の報告とさせていただきます。